

第39回 真庭市地域公共交通会議 議事録

日時：令和5年6月28日（水）

午前10時30分～正午

場所：市役所3階 大会議室(2)(3)

1 出席者

【委員】 太田会長、小林委員、長田委員、眞柴委員、山田委員、國米委員

【専門員】 吉田専門員、西村専門員、杉山専門員、内田専門員

【事務局】 池田生活環境部長、矢田部くらし安全課長、三船主幹、西主幹、柿本主事

2 公共交通会議議事概要

（冒頭）矢田部課長挨拶

各委員、専門員挨拶

太田会長挨拶

太田会長： お集まりいただき、ありがとうございます。

市長になり、いろいろな課題あるが、市民、国民の足の確保、特に、農山村部の足の確保は行政として大切と思っている。個人の一定の努力も必要だが、高齢化に伴って、公共交通しか乗れないという、国を含めた行政が移動の自由を保障することは基本的な人権だと思う。ハンデのある所に対策をきちんとすることは責務。だが、現実には、コロナもあり、高速バス運行廃止や鉄道存続問題も浮上、まにわくんの1億数千万の赤字のなかで財政負担しないといけませんが、それでも続けていかないといけない。私もこの間、かなりの時間交通について動いてきた。国の方も国土交通省鶴田審議官に真庭を視察してもらったとか、JRについても関係者と話をするとか、阪急バスの副社長と話をしてきた。今日、県の担当者もいらっしゃるが、県がもう少し、広域交通には責任を持つべきということで、知事副知事にも前から言っているが、もっと強く言っていく。まにわくんも空気を運ぶのではなく、チョイソコの関係者など全員のお力を借りて進めて参ります。タクシー業者も来ていただけてますが、地元のタクシーも含めて協議しながら、共存しながら、住民にとってもプラスで、事業も成り立っていくものやっいていこうと思っている。自家用車に依存しきるのではなく、環境問題も考えて、農山村部の負担で車関係の費用がどれほど大きいのか。これを減らすことで、実質的な所得が増えていく。それも含めて考えていきたいし、皆さんの知恵もお借りしたい。国の機関も含めて話を参ります。それでは、協議に入らせていただく。

●報告事項

（1）第38回真庭市地域公共交通会議決議結果について【資料1】

（2）令和4年度真庭市地域公共交通事業報告について【資料2】

（3）コミュニティバス「まにわくん」諸報告について【資料3～5】

太田会長：報告事項（1）について事務局より説明を。

西主幹：～一括説明～

太田会長：資料 5 まで何かあるか。

収支は悪くなっている。1 億 2 千万は限界。なんとか改善しないと。市民みんなが使えるのではなく、まにわくんを使えない地域もある。ただ、まにわくんは私は必要であると思う。国庫補助も減っている。私の頭では収入が 2,000 万。補助も 2,000 万ほど。合わせて 4,000 万ほどであると認識している。国庫補助の額について、説明を。

矢田部課長：会長のおっしゃるとおり、国は交通計画を策定しているところに対して配分する形を取っており、計画をつくる場所が増えていっているので、配分は若干減るのは事実。まにわくんの運行につきまして、見直しを図りながら、公費負担の額を減らしてはきたものの、昨今の物価高騰、燃料高騰を受けて、令和 4 年度については増加している。令和 5 年度も今の見込みでは増えるようになっているが、チョイソコ利用も転換していくということで、利用者の数を増やして、金額についてもまにわくんよりも高い金額を設定している。収入も増やししながら、公費負担も減らしていく努力をしていきたい。

太田会長：料金は、200 円を上げたとしても、利用が減ったりして収入そのものは増えない。国庫を増やすということも難しいが、総額が増えていない。国会議員にも要望していかないと。他に何か。

(意見なし)

● 審議事項

- (1) 令和 5 年度真庭市地域公共交通会議事業計画(案)【資料 6】
- (2) 令和 5 年度真庭市地域公共交通事業計画(案)【資料 7】
- (3) AI デマンド交通システム『チョイソコ』の運行について【資料 8】
- (4) まにわくん枝線の一部廃止・変更について【資料 9】

太田会長：審議事項について事務局より説明を。

西主幹：～説明(1)(2)～

三船主幹：～説明(3)～

西主幹：～説明(4)～

太田会長：ここまでを一括審議する。チョイソコについて、イメージできたでしょうか。電話でも良いし、パソコンでも良いし、60 分前までに予約。停留所については何ページか。

三船主幹：22 ページだが、現在、希望停留所を地図に落とし込んでいる最中。22 ページについては、エリアを地図に落とし込んだもの。現在、300 近く停留所の希望をいただいている。出発地については、20 ページの下の所にあるとおり、自治会の公民館やゴミステーションなどの広いところを示してもらって、そ

の場所が実際にハイエースが回れるかどうか現地確認をしている。

太田会長：60分までに予約していただければ今まで以上に近くの停留所で乗り降りできて便利になる。メリットとかまとめて説明を。

矢田部課長：停留所については、運行エリアの全ての自治会で設置したいと思っている。今、自治会に停留所がどこが良いか、ご回答いただいているところ。市街地や中心部については商業施設もあり、停留所がいないというところもあるが、基本的には家の近くに停留所を設置できるように皆さまにお願いしている。回答があったところは座標に落とせるように準備している。目的地は、買い物、医療を中心に店の前まで行けるような形を想定して、準備している。今までのまにわくんの停留所に比べればかなり利便性は高いと考えている。今までは、バス停までかなり歩かないと行けないという人もいたと思うが、自治会内で乗れるという形にしたい。ただ、自治会によってはかなり広い地域もある。一カ所では難しいという意見もある。そういった所には複数設置できるように検討している。

太田会長：ご質問を。

長田委員：自治会でそれぞれ停留所を設定していると思うが、その申請をされた希望場所が地域住民に分かってくるのはいつ頃か。10月までには分かると思うが、今までのバス停とは異なる場所の公民館が設定されたときには、今までのバス停の方が馴染みが深いことも。公民館は坂の上の方にある場合もある。国道のあたりの方が平ら。自治会の中で一つのみでなく、複数になった場合、停留所の場所が500を超える可能性もあるかどうか。

三船主幹：停留所については、たくさん設けても問題ない。初期段階で、たくさんアンケートにお答えするのは厳しいため、まずは一カ所で回答していただいている。希望があれば、現地確認の上、追加する。ニーズに合わせて柔軟に対応する。

長田委員：公民館はおそらく設定されていると思うが、市役所から久世ICまでは国道から左右に地域が広がっている。ずっと高いところが上がっていくようになっている。そうすると、地区の中心である公民館は避難場所も考えて高いところに設定されている。そのため、上り坂を登るようになる。身体障害者や高齢者で買い物に行く人は手押し車を引っ張っていく。そう考えると、今までの停留所も残していただける方がありがたいかなと思う。早めにこのシステムを地域に降ろしたいが、自治会を通して回すか、どのように普及するか。

三船主幹：周知については、自治会長にも伝えるし、地域のサロンや民生委員にも伝える。実際にチョイスコを使われる方は、高齢者がメインだと思う。直接紹介して、会員になってもらう場を複数想定している。まずは、サロンなどに行ったり、ご要望に合わせて周知を行っていく。停留所について、既存のバス停を設定していただいている地域もある。今、地図に落としている段階。7月中旬くらいで全て落として、確認をする。7月中には地図を作ろうと思っている。その段階で精査をする。

太田会長：頭に置いておかないといけないのは、会員。いかに周知して、会員になってもらうか。いろんなルートで

会員になってもらう。

長田委員：会員募集が大切。7、80%は会員になってもらわないといけないかなと思う。自治会を通して、住民に出すなら、名簿チェックの方が早いかなと思う。その場合はプライバシーに引っかかったら取り次ぎが難しい。各家に配って、封筒でもらうとか。具体的な登録を受ける対策を考えないといけない。

太田会長：会員であるかどうか保護すべきプライバシーの問題は生じないと思う。

長田委員：登録していない方が乗ろうとするのは良いか。

三船主幹：システム上、この人がここまで行くというのは予定しておかないといけない。登録している方に同乗するパターンはあるかもしれないが、原則、登録していただかないといけない。

太田会長：登録してもらわないと混乱する。登録には何の支障もない。周知して登録してもらって。

三船主幹：長田委員のおっしゃられているような全世帯の方に登録をしてもらおうとは思っていない。実際に使われる方は限定的だと思う。また、先進地でも病院などで口コミで広がっている。こういう交通を使わないと動けない方が、それならと広がっているイメージ。地域の高齢者が集まる場で周知していきたい。

太田会長：自治会を通して、一応全員に回覧するようにしないとけない。知らなかったと言われないように。ぜひ成功させたい。より利便性をよくするように。400円は他の地域もか。

三船主幹：地域によってまちまち。

國米委員：期待している。しっかり理解していただくのは大変だと思う。社協のサロンも使って周知したい。登録の仕方はどうか。

三船主幹：申込書に紙で書いていただいて送るか、WEBでもできる。ただ、パンフレットとセットになった紙で申し込んでいただくのが最初かなと思う。

國米委員：そういった点も集まる場所で一緒にお伝えして欲しい。

太田会長：社協もよろしく。いろんな場に行って登録してもらう。WEBも高齢者は難しいとも思うが、使って欲しいという思いもある。スマホ教室も行っている。脳の活性化という面でも良いと思う。現実には紙ベースが多いと思う。

吉田専門員：一般乗合事業を活用するということで事前に相談いただきありがたい。このシステム自体はデマンドだけでなく、エリアサポーターを設けたり、チョイスコ通信を使ったりして、イベントがあるから乗りましょうという、自分が行きたいという移動だけでなく、移動を促すようなイベントを紹介したりなど非常に期

待される。住民の方向への周知が大切で、仮に 500 カ所の停留所で乗れると、地図ができあがったときに一番近いところはどこかと探すのがとても大変だと思う。周知方法については、各関係者にも協力してもらってスムーズにできたら良いと思う。また、外から来た方や観光客も WEB で登録できるため、どなたでもご利用ができるようなシステムにしていきたい。よろしくお願ひしたい。

太田会長：まにこいんも普及していつて、こんなイベントがあるというのもこれは使える。いろんなイベントに出かけることが、高齢者にも刺激になる。集いの場も 70 カ所ほどやっている。真庭市の場合、介護認定率が下がっている。成功させましよう。今想定している停車箇所はどこか。

三船主幹：医療機関、薬局は全て当初から目的地として設定する。現在、商工会にご案内をして、目的地として、登録していただけないかと声がけしている。これから、商業施設には個別に回っていく。金融機関や農協にも個別に協力してもらえよう周知を考えている。

太田会長：よろしいか。

(意見なし)

☆審議

太田会長：では、この事項について承認いただける方は挙手をお願いします(一括)。

(挙手多数)

太田会長：ありがとうございます。出席全員賛成により、承認されたものとします。

(5) 真庭市地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について【資料 10】

(6) まにわくん運賃無料化『Oyen ライド』の実施について【資料 11】

太田会長：事務局より説明を。

西主幹：～説明(5)(6)～

太田会長：何かあるか。利用が 9 万人まで落ちていつる。利用が増えると赤字が減り、市民的支持を得やすくなる。かつての 11 万人台目指して頑張りたい。

☆審議

太田会長：では、この事項について承認いただける方は挙手をお願いします(一括)。

(挙手多数)

太田会長：ありがとうございます。出席全員賛成により、承認されたものとします。

太田会長：審議事項は以上。他に何かあるか。真庭市としても、各タクシーやバス事業者の協力も含めて足の確保、交通弱者の方の足の確保も含めて行っていきたい。まにわくんを使って、あるいはまにわくん以外も含めて、市民の方に真庭市を知ってもらおうと毎年 1,000 人ほど参加いただいている。観光局にも頑張ってもらっている。バイオマスツアーも行っている。地域を知り、学び、そこから郷土愛も出て活力もでてくる。ナイトまにわくんの運行も行っていますし、足の確保をしていきたい。学校の方からも何かあるか。

山田委員：利便性が高くなる環境を作ってくれてありがたい。子ども達も身近に感じて利用させてもらうことから地域のあり方についても考えていけたらと思って聞かせていただいた。

太田会長：通学路について、市道もだが、県も含めて、夏草により、道が狭くなる。草刈りを含めて、県にもお願いしてる。通学の安全性確保をしていく。特に 313 号線歩車道が不十分で、家の立ち退きも含めて県に頑張ってもらっている。その他交通関係ありましたらできるできないは別として、ぜひ教えてほしい。それでは、進行を事務局に返す。

矢田部課長：長時間にわたってご協議いただきありがとうございました。閉会にあたりまして、長田分科会長からご挨拶をいただきます。

長田委員：新しい交通ができるということで、早く、スムーズに進めて欲しい。特に、地域では、免許を返納する高齢者が増えており、公共交通機関を利用していただきたいし、ニーズが多い。久世の方が落合や勝山の方に病院に行こうとすと往復 5,000 円ほどかかる。このシステムができると、とても安くなる。高齢者は月 2 回ほど利用している方も多く、期待が大きい。広く皆さんに周知して、多くの方に使ってもらえるようにしていきたい。本日はみなさん、ありがとうございました。

太田会長：まにわくんができる前は、美甘から勝山高校に行くのに月に交通費が 3 万円以上かかっていた。蒜山からは通学できないなど、負担大きかった。まにわくんにより負担が減った。合併により不便もあるが、合併のメリットを最大限活かして進めて参りたい。

(閉会)